



旭自治会だより

令和7年4月1日 第87号 発行 旭自治会

TEL: 0771-22-5533

HPアドレス: kameoka-asahi.com (QRコード)



令和7年 桜の季節

春暖の4月になりました。今季の春の訪れは、三寒四温は例年ですと、少しずつ寒さと暖かさが繰り返して、だんだん暖かくなり春を感じてくるのですが、今年は暖気と寒気がはっきりして変化してきました。暖かくなったなと思えば、急に真冬のような寒波と、荒々しく春が訪れてきたように思います。

季節代わりの今、旭町の皆様には如何が過ごしでしょうか。まだインフルエンザや風邪の諸症状でお悩みの方、また花粉症の季節、先日も大量の黄砂が現れて、体調を崩された方が多く居られたようですので、本当にお気を付けいただきたいと思います。

今年も桜の開花が話題になる季節、今年は少し朝夕の寒さを感じる日が3月末に多くありましたので、桜の開花も遅れているようです。旭町自治会にある桜の蕾が少し赤味を帯びてきたのが、いつもより遅かったように思います。4月6日には、3回目の「花を楽しむ会」を開催いたします。この日満開の桜の花の下で楽しい時間を過ごしたいと準備をしています。例年のように穏やかな春の日差しの中で、良いひと時を楽しみたいものです。今回も、子供たちから年配の方まで多くの皆様に楽しんでいただきたく、昨年につき「なごみの里あさひ」から「ちらし寿司」、昨年好評だった「焼きいも」や、コーヒーのキッチンカーも予定しております。多くの方々のご参加をお待ちしております。

さて、4月新年度、今年は自治会の常任委員、各区の区長さんがすべて交代されます。また自治委員も一部交代があります、後日紹介をさせていただきますのでこれからもよろしくお願いします。また、先般行政の人事異動が新聞紙上に掲載されておりました、私もサラリーマン時代には、人事異動を経験してきました。全く経験のない仕事を体験していくことは、大変なプレッシャーを課せながら、自らのキャリアアップをさせてくのですから、不安の季節でもあります。しかし様々な経験は力の蓄積ですので、多くのことに向き合い、教えられたり、教えたり、人と人が関わり、分かり合い、人が、社会が、お互いに豊かになるその変わり目と出発の時期、正に人事異動から生まれているように思っています。今年、新たに就職された方、また、新しい職場に付かれた皆様に、大きなエールを送りたいものです。

4月旭町の田畑が冬の装いから春の農業生産風景に一変します、今年もより良い生産活動が出来ますよう願っております。皆様どうぞお気を付けて、お取組みなされますようお祈りします。

旭町自治会 吉川 肇



防災講習会 開催～令和7年3月12日（水）午後7時30分～

令和7年3月12日（水）旭コミュニティセンターで防災講習会が行われました。亀岡市自治防災課防災担当の方2名が講習会をしていただきました。



第1部⇒災害への対応・第2部⇒段ボールベット・テント等の組立が行われました。災害への対応については、事前の備えや対応について様々なことを学びました。総合防災ガイドやハザードマップが配られ、いつも注意しているようでできていないこともある

と感じました。段ボールベット・テント・仮設トイレ等簡単に組めるようで、「ちょっと待って」や「どこ持っていく？」といった戸惑う声もあり、苦戦の部もありました。講習会を受けて、災害への事前準備の大切さ、それ以上に隣近所の声かけが大切だと実感させていただきました。



『旭 町民のつどい 2025』開催

～令和7年3月16日（日）～

コロナウイルス禍やインフルエンザなどで旭町の行事も規模縮小や中止で町民の皆様と話す機会がここ数年減りました。そこで旭町民のつながりを考え、これからの旭町がよ

くなるためになにができるのかを考えていきました。下記のテーマについて話しました。

- 地域行事の参加について
- 女性の地域活動への参加、参画について
- ボランティアさんかについて
- 旭町がよくなるためには私たちに何ができるのか？・・・などなど

旭サポートカーや行事の要望・ボランティアの参加について、皆さんの意見がたくさん出ていました。若者世代にも参加してほしいという声もあったようです。この「旭町民のつどい」がこれからの「旭町の活性化」につながることを願っています



4月の行事予定

6日（日） 「亀岡市消防団 旭分団入退団式」 旭コミセン 午前7時～

「花を楽しむ会」 旭コミュニティセンター 午前10時30分～

9日（水） 亀岡川東学園入学式

13日（日） カワヒガシマーケット 午前9時～午後3時

会場：「なごみの里あさひ」「亀公房」「宮前農園直売所」「森田農園」

13日（日）・27日（日） 特別感謝デー 「なごみの里あさひ」 午前9時～



令和 7 年度に向けて 今以上の進展へ ～旭サポートカー事業～

旭サポートカー事業を開始して 7 年、運行を始めてから 5 年が経ちました。現在、多くの方から「助かる」「これがないと困る」といった喜びの声をいただく一方で、「どう利用するのか分からない」「そんなサービスがあるとは知らなかった」

といった声もまだまだ聞かれます。こうした課題を改善し、令和 7 年度に向けて事業をさらに発展させていく必要があります。

現在の課題

1. 利用者への説明不足
2. 運転手の登録人数不足
3. 有償・無償問題



特に、先日開催された「旭町民のつどい 2025」では、増便を希望する声が多く寄せられました。その実現には、まず運転手の増員が必要です。しかし、「人を乗せることへの不安」が原因で、運転手の登録をためらう方も少なくありません。

運転手の増員について

旭サポートカー委員会では、安全運転講習会を毎年開催しており、専門講師による指導のもと、実技や安全運転の研修を行っています。参加者からは「普段の運転も丁寧になった」との声もあり、安全対策には万全を期しています。また、サポートカー専用の保険にも加入しており、できる限りの安心を提供しています。



最近、運転手の方から「自分が高齢になったとき、サポートカーは続いているのか？」という声が上がりました。この言葉を聞いて改めて、「サポートカー事業は継続していかなければならない」と強く感じました。旭町は公共交通が少なく、高齢化が進んでいるため、この事業は地域の暮らしを支える大切な存在です。

そのため、現在の 60 代・50 代の方々にも積極的に運転手として参加いただき、「若者が高齢者を支える」仕組みを作ることが、住みやすい町づくりと地域の活性化につながると考えています。

運行スケジュールと利用方法

現在の運行スケジュールは以下の通りです。

- ・ 火曜日：美濃田・杉地区
- ・ 水曜日：山階・印地地区

利用の流れ

1. 利用登録を行う(登録用紙はサポートカー委員まで)
2. 利用日前日までに旭町自治会へ連絡
3. 送迎場所
 - マツモト千代川店、フレッシュバザール、銀行、郵便局、ユタカ など
 - 病院や公共施設については事前に相談してください
4. 時間： 午前 10 時頃(自宅近くまたは集合場所)から午前11時45分



また、サポートカーは単なる「移動手段」ではなく、車内での交流を楽しみにされている利用者も多く、「久しぶりに会えてうれしい」「〇〇の話を聞いた？」といった会話の場にもなっています。移動だけでなく、**フレイル予防(健康維持)**にもつながっており、地域の大切なコミュニティづくりの場ともなっています。

有償・無償について

現在、京都府や亀岡市の支援を受けていますが、今後どこまで援助が続くかは不透明です。そのため、運営資金の確保が重要な課題となります。将来の持続可能な運営のためにも、利用者の負担を最小限に抑えつつ、どのような形が最適かを引き続き検討していきます。

令和7年度に向けて

今後も利用者が安心して利用できる環境を整えつつ、地域の未来を見据えた取り組みを進めていきます。旭サポートカー事業が、何年経っても旭町にとって欠かせない存在となるよう。

- ・ 若者や女性の参加を促進
- ・ 町の活性化と住みよい環境づくりに貢献したいと思っています。

これからも皆さんと一緒に、より良い地域交通の一つとしてこの事業を目指していきたいと思っています。

